

南瀬小学校景観学習の様子

平成23年2月17日（木）

南瀬小学校の裏にある南瀬地区コミュニティセンターの敷地内には、樹齢約100年のイチヨウの木が雄株と雌株の二本仲良く立っていて、夏には青々とした葉が生い茂り、秋には黄色の葉に色づきとても素敵なのです。平成22年10月1日に「景観重要資産第5号 南瀬のイチヨウの木」として指定しています。（※景観学習後、平成23年3月28日に景観重要樹木「南瀬の夫婦イチヨウ」として指定されました）

今回の景観学習は、このイチヨウの木を中心に「南瀬地区の景観について」と題して3時間目と4時間目に行いました。

授業ではまず「薩摩川内景観かるた」を利用して市内の景観について学んだあと、「薩摩川内ふるさと景観計画」について学習し、その後、「イチヨウの木や樹木の役割」について薩摩川内市景観アドバイザーの話を聴き、その後「南瀬地区の景観標語」ポスターを作成しました。

景観カルタ



スライド学習



景観アドバイザー（樹木）講話



景観標語ポスター作成



発表



集合写真



作品

